



みつわ通信

2018年

5月号

担当 岡崎

爽やかな季節の始まり。

お世話になっております。この通信が届く頃はGWも終わり、夏前の爽やかな季節真っ只中ですね。私個人的にも一番好きな季節です。皆様はいかがですか？

生コンは5月ぐらいからスランプの変動が大きくなります、施工時は注意してください。今回はコンクリートの強度についてのお話をします。



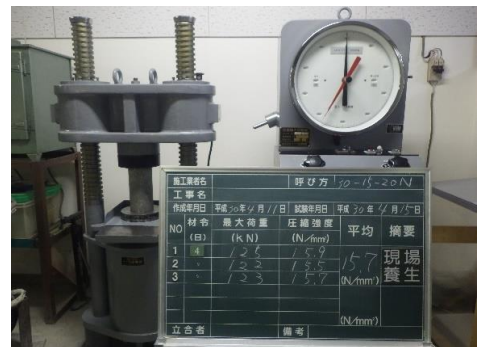
コンクリートの強度

コンクリートの強度を示す種類には圧縮強度、引張強度、曲げ強度、せん断強度、付着強度、支圧強度、疲労強度等があります。この中の圧縮強度を用いて生コン業界は営業しています。コンクリート敷きの道路等に使用する曲げ強度以外、使用する強度のほとんどが圧縮強度です。

コンクリートの圧縮強度とは規定の日数(28日間)養生を行い、硬化したコンクリートに圧縮力(N、ニュートン)を与え、何N/mm²そのコンクリートが耐えられる(圧縮応力)のかを示す強度のことをいいます。呼び強度21の場合で考えますと、テストピースを圧縮試験機にて圧縮し、その圧縮力Nを受ける面積mm²で割った数値が三本平均で21.0N/mm²以上でなければ、そのコンクリートは不良品ということとなります。

現場における強度

工場にて呼び強度21のコンクリートを製造したとします。練り上がったコンクリートを直接採取し強度測定した値はそのコンクリートの一番良い数値といえます。しかしお客様に届けられたコンクリートの強度は、時間・気候・施工方法・養生方法の影響を受けるため、前記の強度より下まわります。そこで生コン工場は「配合強度」という呼び強度を下回らないような配合設計を行ない、これに基づきコンクリートを出荷しています。



当社圧縮強度試験機と強度試験状況。

(この写真には間違いがあります、当ててみてください。)

お気軽にお電話ください♡

コンクリートに関することなら小さなことでも構いません。

Tel 023-686-6032 まで、お電話待ってます。

Facebookやってます!! (・∀・)イネ!! お願いします!!

ホームページも毎日ブログ更新中!! 色んな情報がいっぱい!!

<https://www.facebook.com/mitsuwanamakon/>

<http://necon.co.jp/>

